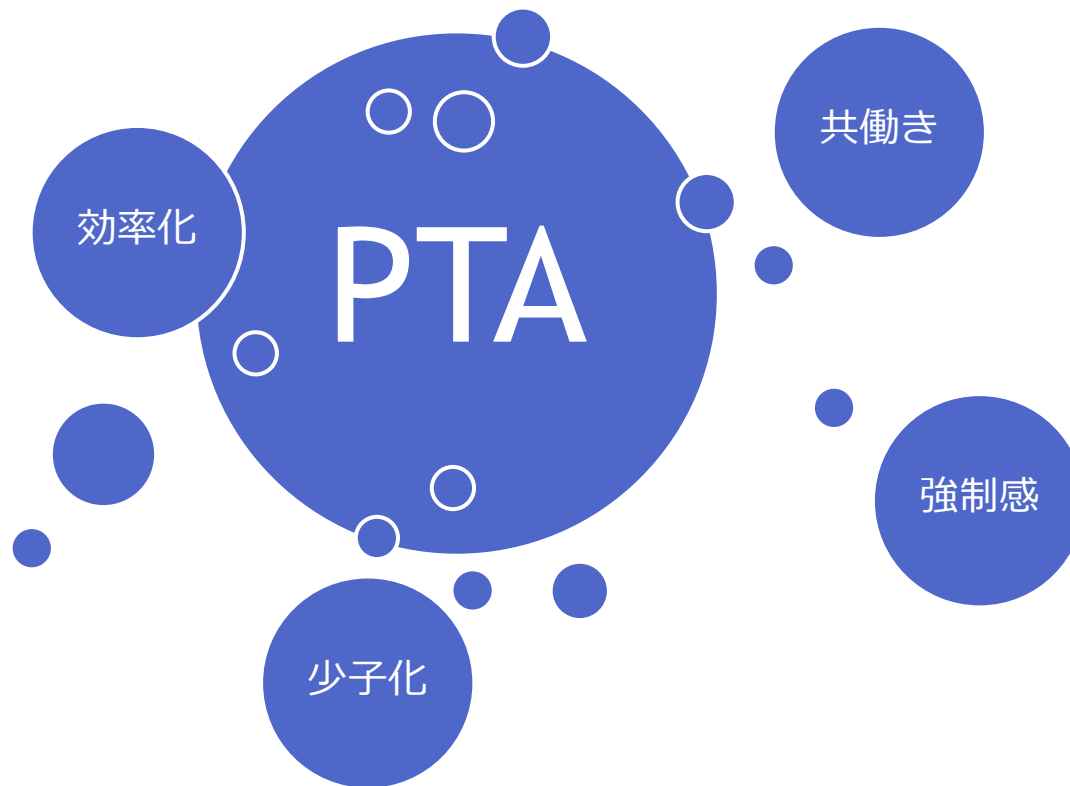


向小金小学校の場合

～むかいつ子会発足について～

向小金小学校 PTA

PTAを取り巻く現状

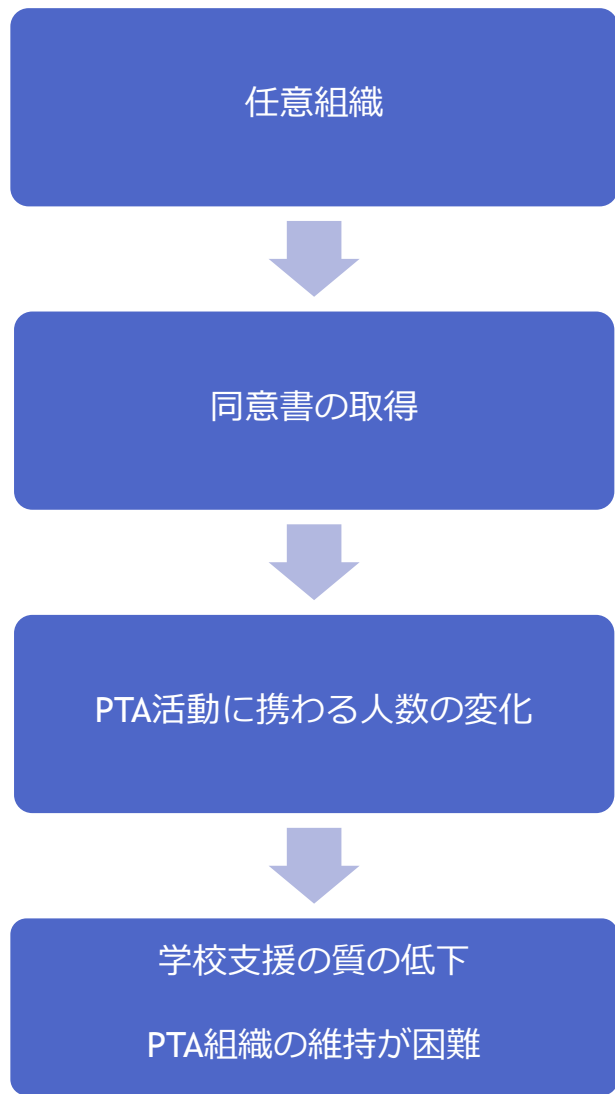


新型コロナウイルス感染症流行以降、PTA活動についても全国的に見直す動きが活発化しています。

新しい価値観の下、「子どもたちが通う学校が円滑に運営されるように支援する」ことを第一義として、持続可能な体制を模索しました。



PTAを取り巻く現状



PTAは任意組織のため、PTA参加の同意書を取得することになります。
向小金小学校は、現状未導入です。

PTAを存続させるにあたり、同意書の取得が必要になりますが、同意を確認することで、活動に参加する人数の大幅な変更の可能性があります。

一律に支援の質の低下が見込まれるわけではありませんが、一部の同意者のみに負担を強いる恐れがあると危惧しています。



現在のPTAが抱える問題点①

—同意確認により発生する問題—

学校活動
+
地域活動

同意確認（同意書の取得）

同意、不同意の発生

同意者

PTA活動あり（負担大）

PTA活動なし（負担なし）

不同意者

PTAにより享受できる利益

同意不同意にかかわらず利益は同じ

不公平感

不同意者の増加

同意者の負担増・同意者減少

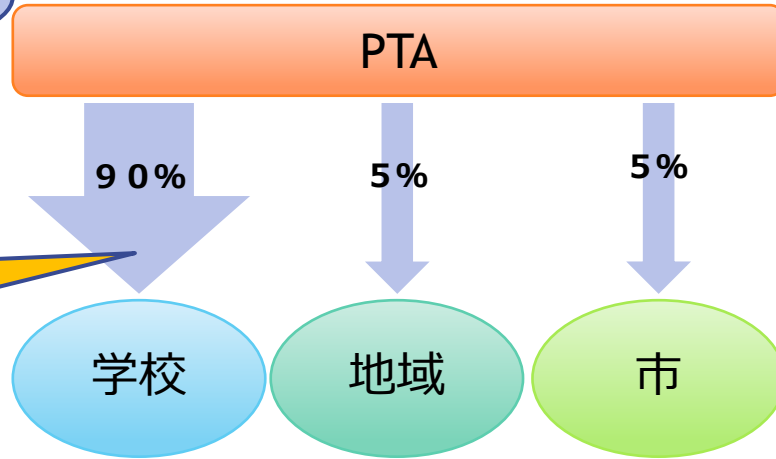
制度崩壊！！！！

悪循環



現在のPTAが抱える問題点② —学校外との関係による問題—

理想

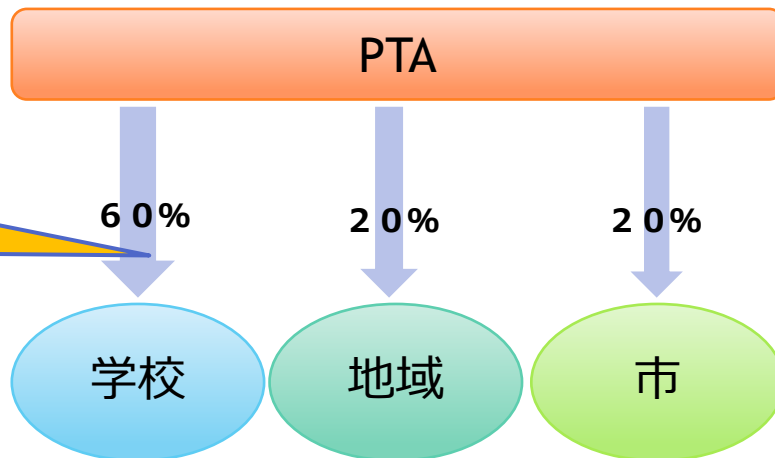


学校 = 子供達のために労力を集中したい

PTAとして学校支援に100%の労力をあてたいと考えています。



現実



学校 = 子供達のために使える労力が減少

しかし、長年の活動を通じて地域や市からPTAへの支援要請が増えています。本来、学校支援に労力を集中したいものの、市や地域からの要請による負荷が増大し、学校支援にあてられる労力が減少します。

向小金小PTAの抜本的改革

保護者会の立上 ～PTAから脱退し、新たな体制へ～

- PTA組織から脱退し、新たに「保護者会」を立上
- 市や地域からの依頼を直接受けるのではなく、学校を通じて「学校への支援」という形で対応できるもののみ実施
- 向小金小学校児童の世帯保護者が会員

部会の廃止 ～業務を見直し、負担軽減へ～

- 現PTA体制の内、本部機能は現行のまま
- 部会制度を廃止し、本部役員及び係業務のみ
- 係業務にない支援あるいは追加で人手が必要な場合は、都度ボランティアを募集

①負担感の少ない、持続可能な支援
②学校への支援の質の維持
を目標に新体制を提案します。



PTA協議会からの脱退による メリット・デメリット

メリット

- 本部業務の縮小
- 上位PTA組織納める会費を学校へ使用できる。
- 上位PTAの理念に縛られず、自由な活動が可能。

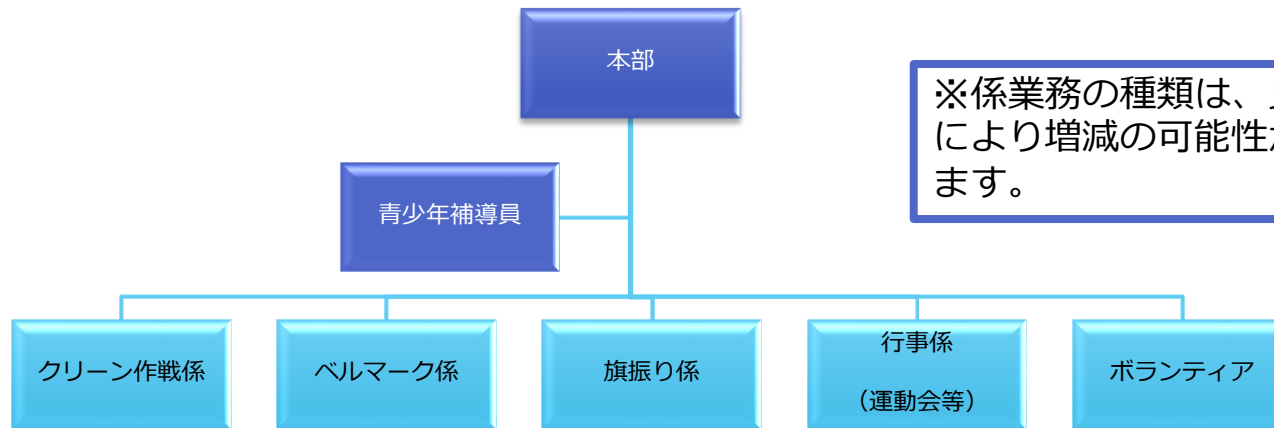
デメリット

- 市Pを通じて実施する活動に参加できない。
- 小学生・中学生総合補償制度（県Pによる団体契約）に加入できない。（現加入世帯は解約処置が必要）
- バレーボール部がPTA主催の大会に参加ができない。もしくは、オープン参加

学校間の情報共有等は、学校を通じて連絡を取り合う、他学校のPTA役員と連絡を取り合うなど、情報収集には引き続き務めます。



保護者会とは？



※係業務の種類は、見直しにより増減の可能性あります。

参加対象

- 在校児童の世帯につき、保護者1人が対象

部会の廃止

- 1世帯につき、年に1係のみ

本部役員について

- 2年任期とし、任期終了後の係活動免除

青少年補導員について

- 2年任期とし、任期終了後の係活動免除 市からの委託により従事。市から手当金が支給

会費について

- 引き続き概ね同額を「保護者会費」として集金。ただし、市P等へ支払っていた金額について、学校支援へ充当

各種会議について

- 年3回の会議を見直し、必要に応じて実施。ただし、年度当初の総会は必ず実施。（決算報告、予算案、活動計画等の承認）

基本的な構成はPTA体制と変更はありませんが、保護者負担軽減のため、部会をなくし、本部役員にて業務を実施します。



体制の変更による変化事項等 について

ポイント制 について

- ポイント制は廃止
- 保護者会設立初年度のみ、過去部長経験者及び部会員経験者について希望係に優先的に配置（部長経験者を最優先）。2年度目以降は、過去保有のポイントに関わらず、係を決定。

係 について

- 現在の係以外にも、ボランティアで実施しているものを係化する等、選択肢を増加

会費 について

- 基本的に金額の大幅な変更はなし。
- 学校の教育費関連の振り込み化に伴い、会費も同様に振り込み。
- 振り込みを実施するにあたり、かかる経費について会費にて負担

係の希望は希望調査にて複数の希望を伺います。

会員みなさまの意見を伺う機会（会議）を設ける等、より保護者に近い体制を目指します。





- できる人⇒一部の人ではなく、みんながそれぞれのタイミングで関わる。
- できることを⇒それぞれの状況を踏まえて、できる範囲でやる。

持続可能でかつ、効果的な
学校支援